

2017年度 法科大学院

第四期入学試験問題

2 時限

民法

(論文式)

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の 1 ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各 1 枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

XはYに対し甲土地を売却し、所有権移転登記も経由した。しかし、Yが残代金を支払おうとしないため、XはYに対し催告をした上で契約を解除した。

以下の小問（1）および（2）について、（a）いわゆる直接効果説から説明すると、XはZから甲土地を取り戻すことができるか、（b）いわゆる間接効果説から説明すると、XはZから甲土地を取り戻すことができるか、それぞれ論じなさい。なお、不明の事実があれば、場合を分けて論じなさい。

- （1）Xが契約を解除する前に、YはZに対し甲土地を売却し、所有権移転登記も経由した。
- （2）Xが契約を解除した後に、YはZに対し甲土地を売却し、所有権移転登記も経由した。

（解答は全て解答用紙に記入すること）